＜平成 26 年度試買テスト「家庭用除湿剤」巻末資料＞

（表示内容）取扱上の注意事項

①　透湿膜（具体的に示す）をはがしたり、やぶらないこと。または、吸湿剤を取り出さないこと。(テスト品：２～６)

●使用中は防湿フィルムの下の白い透湿シートをはがしたり、破ったりしないでください。: ２

●薬剤を吸湿すると液体になりますので、この吸湿パックを傷つけたり、破って中の薬剤を取り出したりしないでください。: ３

●中の薬剤を取り出さないでください。: ４

●薬剤袋を乱暴に扱ったり、薬剤を取り出したりしないでください。万一、袋を傷つけた場合は、使用を中止してください。液がもれ、衣類を汚す原因となります。: ５

●薬剤を取り出したり、薬剤袋を乱暴に扱わない。万一袋を傷つけた場合、使用を中止する。液が漏れて下駄箱内を汚したり、皮製品を変質させるおそれがある。: ６

②　表示されている用途以外には使用しないこと。(テスト品：１、３～６)

●用途以外には使用しない。: １、３、４、５、６

③　○○なので、倒れたまま使用しないこと。(テスト品：１～３)

●安定した平らな場所で使用する。倒したまま放置しない。液がもれ、床にシミ、衣類・皮革の製品の変色、変質、金属のサビのおそれがある。: １

●必ず白い透湿シートを上にして安定した状態で使用してください。本体を落としたり、物をのせたり、倒れたままで使用しないでください。また、白い透湿シート面に、界面活性剤(洗剤など)・油・アルコールを付着させないでください。液がもれ、シミやサビの原因となります。: ２

●ケースは傾かない安定した場所に置き、ぶつけたり、倒したりしないようにしてください。: ３

④　物を載せたり、使用中に吸湿口などをふさがないこと。(テスト品：２、３)

●必ず白い透湿シートを上にして安定した状態で使用してください。本体を落としたり、物をのせたり、倒れたままで使用しないでください。また、白い透湿シート面に、界面活性剤(洗剤など)・油・アルコールを付着させないでください。液がもれ、シミやサビの原因となります。: ２

●ケースに物をのせたり、布団などをかぶせたりしないでください。: ３

⑤　ぬらさないこと。(テスト品：２～６)

●必ず白い透湿シートを上にして安定した状態で使用してください。本体を落としたり、物をのせたり、倒れたままで使用しないでください。また、白い透湿シート面に、界面

活性剤(洗剤など)・油・アルコールを付着させないでください。液がもれ、シミやサビの原因となります。：２

●水、油、洗剤などがかかる場所では使用しないでください。：３

●液モレする場合がありますので、薬剤袋に傷をつけたり、油(皮革用クリームなど)や洗剤などを付着させないでください。もれた液が付着すると、衣類を汚したり皮革製品を変質させます。：４

●ぬれた衣類などに使用しないでください。：５

●白い吸湿面を汚したり、ぬらしたりしない。液が染み出す原因となる。：６

⑥　容器を落とすなど乱暴に扱わないこと。（テスト品：２～６）

●必ず白い透湿シートを上にして安定した状態で使用してください。本体を落としたり、物をのせたり、倒れたままで使用しないでください。また、白い透湿シート面に、界面活性剤(洗剤など)・油・アルコールを付着させないでください。液がもれ、シミやサビの原因となります。：２

●ケースは傾かない安定した場所に置き、ぶつけたり、倒したりしないようにしてください。：３

●液モレする場合がありますので、薬剤袋に傷をつけたり、油(皮革用クリームなど)や洗剤などを付着させないでください。もれた液が付着すると、衣類を汚したり皮革製品を変質させます。：４

●薬剤袋を乱暴に扱ったり、薬剤を取り出したりしないでください。万一、袋を傷つけた場合は、使用を中止してください。液がもれ、衣類を汚す原因となります。：５

●薬剤を取り出したり、薬剤袋を乱暴に扱わない。万一袋を傷つけた場合、使用を中止する。液が漏れて下駄箱内を汚したり、皮製品を変質させるおそれがある。：６

⑦　直火による乾燥をしないこと。

表示なし

⑧　吸湿剤を取り出し、目に入ると危険です。万一目に入った場合は、すぐに大量の水で洗浄した後、医師に相談してください。（テスト品：１～６）

⑨　吸湿剤や潮解液を口に入れないこと。万一口に入れた場合は、すぐに吐き出し、水でうがいをすること。（テスト品：１～６）

●薬剤やたまった液が万一皮膚についた場合は水で流す。目に入った場合は水でよく洗い、医師に相談する。飲み込んだ場合は水または牛乳を飲ませ、医師に相談する。：１

●薬剤やたまった液が、皮膚についたり目に入ったりした場合は、流水でよく洗い流し、また飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませてください。いずれの場合も医師にご相談ください。：２

●本品は食べられません。万一、薬剤やたまった液を口に入れた場合はすぐに吐き出させるか多量の水を飲ませてください。また、目に入った場合はすぐに多量の水で洗浄してください。※処置後、ただちに医師に相談してください。：３

●薬剤を口にした場合は、水で口の中を洗浄し、コップ１～２杯の水を飲ませてください。

また、皮膚に付いたり、目に入った場合は、すぐに多量の水で洗い流してください。どちらの場合も、異常があれば医師にご相談ください。：４

●本品は食べられません。：５

●万一、薬剤が目に入った場合は流水でよく洗い、また飲み込んだ場合は、多量の水または牛乳を飲ませてください。いずれの場合も医師にご相談ください。：５

●本品は食べられない。万一口に入れた場合は、すぐに吐きださせ、うがいをさせる。また飲み込んだ場合は、水または牛乳を飲ませ、ただちに医師に相談する。：６

●薬剤が目に入らないように注意する。万一目に入った場合は、流水で充分に洗ったうえで、ただちに医師に相談する。：６

○　誤って食べた時は「公益財団法人　日本中毒情報センター」にご相談ください。（テスト品：１、２、４～６）

⑩　吸湿剤を取り出し、水に直接触れると発熱し、危険であること。（テスト品：２）

●水捨てシールをはがし、たまった液を水道水と一緒に流してください。粒が残っている場合は、水捨て口にぬるま湯を注いで溶かしてから捨ててください。その際、発熱することがありますのでご注意ください。：２

⑪　子供がいたずらしないように注意すること。（テスト品：１～６）

●幼児のいたずら、誤飲・誤食に注意する。：１

●子供のいたずらに注意：２、３、４

●幼児のいたずらにご注意ください。：５

●幼児のいたずら、誤食に注意する。：６

⑫　吸湿剤及び潮解液を皮膚や衣服に付けないこと。万一ついた場合は、すぐに水でよく洗い流すこと。（テスト品：１～６）

●薬剤やたまった液が万一皮膚についた場合は水で流す。目に入った場合は水でよく洗い、医師に相談する。飲み込んだ場合は水または牛乳を飲ませ、医師に相談する。：１

●薬剤やたまった液が、皮膚についたり目に入ったりした場合は、流水でよく洗い流し、また飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませてください。いずれの場合も医師にご相談ください。：２

●直接水溶液・内容物にふれないようご注意ください。：２

●薬剤やたまった液が体や衣類、金属についた場合はすぐに水で洗い流してください。絹や皮革製品につくと変色、変形しますので取り扱いにご注意ください。：３

●薬剤を口にした場合は、水で口の中を洗浄し、コップ１～２杯の水を飲ませてください。また、皮膚に付いたり、目に入った場合は、すぐに多量の水で洗い流してください。どちらの場合も、異常があれば医師にご相談ください。：４

●薬剤が皮膚、衣類についた場合は、よく洗ってください。金属についた場合、放置すると腐食やサビの原因となりますので、ご注意ください。また床などにこぼした場合は、

ベトつきがなくなるまで水拭きと乾拭きを繰り返してください。: 5
●薬剤が皮膚、衣類や金属などについたり、こぼれた場合は、水でよく洗い流す。: 6

⑬　吸湿剤及び潮解液を金属に付けないこと。万一ついた場合は、金属をすぐに水でよく洗い流し、乾燥すること。（テスト品：１～６）

●安定した平らな場所で使用する。倒したまま放置しない。液がもれ、床にシミ、衣類・皮革の製品の変色、変質、金属のサビのおそれがある。: 1
●薬剤やたまった液が、木・革・金属・衣類・床・壁等についてしまった場合、シミ・サビ等破損の原因となります。必ず水で洗い流してください。: 2
●洗えない場合はべとつきがなくなるまで、水拭き・カラ拭きを繰り返してください。: 2
●薬剤やたまった液が体や衣類、金属についた場合はすぐに水で洗い流してください。絹や皮革製品につくと変色、変形しますので取り扱いにご注意ください。: 3
●薬剤を衣類や金属などについたままにしておくと、変色・変質・サビの原因となりますので、水でよく洗い流してください。洗えない場合は、ベトつきがなくなるまで、水拭きとカラ拭きを繰り返してください。: 4
●薬剤が皮膚、衣類についた場合は、よく洗ってください。金属についた場合、放置すると腐食やサビの原因となりますので、ご注意ください。また床などにこぼした場合は、ベトつきがなくなるまで水拭きと乾拭きを繰り返してください。: 5
●薬剤が皮膚、衣類や金属などについたり、こぼれた場合は、水でよく洗い流す。: 6

⑭　廃棄の方法（テスト品：１～６）

【タンクタイプなど吸湿によって吸湿液が溜まるような家庭用吸湿剤(テスト品：１～３)】
○水といっしょに排水口に流す。(テスト品：１～3)
●白い透湿膜をハサミ等で破り、たまった液体(塩化カルシウム水溶液)は必ず水といっしょに排水口に流す。: 1
●水捨てシールをはがし、たまった液を水道水と一緒に流してください。粒が残っている場合は、水捨て口にぬるま湯を注いで溶かしてから捨ててください。その際、発熱することがありますのでご注意ください。: 2
●流し台などで吸湿パックを取り出してハサミで開封し、たまった液は水道水と一緒に流し、袋は自治体の指示に従って処理してください。※使用したハサミと流し台は、サビの原因になりますので必ず水でよく洗い、水分をふきとってください。: 3

○容器・カバーは地域のゴミ捨て規則に従って捨てる。(テスト品：１～3)
●容器・カバーは地域のゴミ捨て規則に従って捨てる。: 1
●本体はプラスチックゴミとしてお捨てください。: 2
●流し台などで吸湿パックを取り出してハサミで開封し、たまった液は水道水と一緒に流し、袋は自治体の指示に従って処理してください。※使用したハサミと流し台は、サビの原因になりますので必ず水でよく洗い、水分をふきとってください。: 3

○植物に液をかけないでください。（テスト品：１～３）

●植物にかけない。　：1

●植物に液をかけないでください。枯れる事があります。：2

●吸湿パックにたまった液は植木などにかけないでください。：3

【シートタイプなど吸湿によってゼリー状になる保水剤が含まれる家庭用吸湿剤(テスト品：４～６)】

○使用後は自治体の区分に従ってお捨てください。（テスト品：４～６）

●本品はプラスチックゴミです。地方自治体の区分に従って、中身を出さずにそのまま捨ててください。：4

●使用後は自治体の区分に従ってお捨てください。：5

●使い終わったあとは、地域のゴミ捨て規則に従ってお捨てください。：6

⑮　その他。必要とする事項

○安定した平らな場所で使用する。（テスト品：１）

○吸湿剤及び潮解液を皮革製品に付けない。（テスト品：１～３、５）

●安定した平らな場所で使用する。倒したまま放置しない。液がもれ、床にシミ、衣類・皮革の製品の変色、変質、金属のサビのおそれがある。：1

●薬剤やたまった液が、木・革・金属・衣類・床・壁等についてしまった場合、シミ・サビ等破損の原因となります。必ず水で洗い流してください。：2

●薬剤やたまった液が体や衣類、金属についた場合はすぐに水で洗い流してください。絹や皮革製品につくと変色、変形しますので取り扱いにご注意ください。：3

●革製品に薬剤袋を直接ふれないようにしてください。革製品を変質・変色させるおそれがあります。：5

○取扱説明書は使い終わるまで保管する。（テスト品：２、６）

●この取扱説明は、使い終わるまで保管してください。：2

●使用期間中はこの袋を保管する。：6

○本体の取扱いに注意（テスト品：２）

○外装の取扱説明をよくお読みください。（テスト品：２）

○押し入れなどから取り出す際、ケースを傾けないでください。万一、液もれした場合、液がこぼれます。（テスト品：３）

○必ず専用ケースに入れてご使用ください。液もれの原因となりますので、他の除湿剤容器にセットしたり、本品のみでのご使用は絶対に避けてください。（テスト品：３）

○圧縮袋には使用しないでください。強く圧迫されると中身が染み出す恐れがあります。（テスト品：４）

○白色の吸湿面を必ず上に向けて、置いてご使用ください。（テスト品：４、５）

●外袋から本品を取り出し、吸湿面(白い面)を上にして、衣類の一番上に置いてください。：４

●外袋から薬剤袋を取り出し、白色の吸湿面を必ず上に向けて、そのまま衣類の一番上に置いてご使用ください。：５

○バックの中、衣類の間やポケットに入れて使用しないでください。（テスト品：５）

○パッケージに記載されている使用量を守ってご使用ください。（テスト品：５）

（表示内容）取扱上の注意事項のポイント

★　潮解液が漏れないようにする。
①透湿膜（具体的に示す）をはがしたり、やぶらないこと。または、吸湿剤を取り出さないこと。(テスト品：２～６) ③○○なので、倒れたまま使用しないこと。(テスト品：１～３) ⑤ぬらさないこと。(テスト品：２～６) ⑥容器を落とすなど乱暴に扱わないこと。(テスト品：２～６) ○安定した平らな場所で使用する。(テスト品：１) ○押し入れなどから取り出す際、ケースを傾けないでください。万一、液もれした場合、液がこぼれます。(テスト品：３) ○必ず専用ケースに入れてご使用ください。液もれの原因となりますので、他の除湿剤容器にセットしたり、本品のみでのご使用は絶対に避けてください。(テスト品：３) ○圧縮袋には使用しないでください。強く圧迫されると中身が染み出す恐れがあります。（テスト品：４）

★　吸湿剤や潮解液による身体への危害を防ぐ。
⑧吸湿剤を取り出し、目に入ると危険です。万一目に入った場合は、すぐに大量の水で洗浄した後、医師に相談してください。(テスト品：１～６) ⑨吸湿剤や潮解液を口に入れないこと。万一口に入れた場合は、すぐに吐き出し、水でうがいをすること。(テスト品：１～６) ○誤って食べた時は「公益財団法人　日本中毒情報センター」にご相談ください。(テスト品：１、２、４～６) ⑩吸湿剤を取り出し、水に直接触れると発熱し、危険であること。 ⑪子供がいたずらしないように注意すること。 ⑫吸湿剤及び潮解液を皮膚や衣服に付けないこと。万一ついた場合は、すぐに水でよく洗い流すこと。(テスト品：１～６)

★　吸湿剤や潮解液による物品への被害を防ぐ。
④物を載せたり、使用中に吸湿口などをふさがないこと。(テスト品：２、３) ⑤ぬらさないこと。(テスト品：２～６) ⑥容器を落とすなど乱暴に扱わないこと。(テスト品：２～６) ⑫吸湿剤及び潮解液を皮膚や衣服に付けないこと。万一ついた場合は、すぐに水でよく洗い流すこと。(テスト品：１～６) ⑬吸湿剤及び潮解液を金属に付けないこと。万一ついた場合は、金属をすぐに水でよく洗い流し、乾燥すること。(テスト品：１～６) ○吸湿剤及び潮解液を皮革製品に付けない。(テスト品：１～３、５) ○白色の吸湿面を必ず上に向けて、置いてご使用ください。(テスト品：４、５) ○バックの中、衣類の間やポケットに入れて使用しないでください。(テスト品：５)

★　吸湿性能を最大限引き出す。
④物を載せたり、使用中に吸湿口などをふさがないこと。（テスト品：２、３） 〇白色の吸湿面を必ず上に向けて、置いてご使用ください。（テスト品：４、５） 〇パッケージに記載されている使用量を守ってご使用ください。（テスト品：５）
★　廃棄方法
【タンクタイプなど吸湿によって吸湿液が溜まるような家庭用吸湿剤(テスト品：１～３)】 〇水といっしょに排水口に流す。（テスト品：１～３） 〇容器・カバーは地域のゴミ捨て規則に従って捨てる。（テスト品：１～３） 〇植物に液をかけないでください。（テスト品：１～３） **【シートタイプなど吸湿によってゼリー状になる保水剤が含まれる家庭用吸湿剤(テスト品：４～６)】** 〇使用後は自治体の区分に従ってお捨てください。（テスト品：４～６）
★　その他
②表示されている用途以外には使用しないこと。（テスト品：１、３～６） 〇取扱説明書は使い終わるまで保管する。（テスト品：２、６） 〇本体の取扱いに注意（テスト品：２） 〇外装の取扱説明をよくお読みください。（テスト品：２） 〇パッケージに記載されている使用量を守ってご使用ください。（テスト品：５）

（表示内容）保存方法、取替え時期の判断の目安

○　保存方法（テスト品：３～６）
●この袋を開封せず、直接日光のあたる所や高温多湿になる所を避けて保存してください。：３ ●直射日光を避けて保存してください。：４ ●外袋を開封すると吸湿が始まります。本品を一度に使用しない時は、外袋に入れ、チャックをしっかり閉じて保存し、早めにお使いください。：４ ●直射日光および高温多湿のところを避けて保存してください。薬剤袋は開封すると吸湿を開始しますので、未使用分はファスナーを閉めて密封してください。：５ ●直射日光及び高温多湿のところを避けて、密封したまま保存してください。：６
○　取替え時期の判断の目安（テスト品：１～６）
【保水剤がないタンクタイプの除湿剤(テスト品：１、２)】 ●おとりかえ目安の印あり（※1年以内に必ずお取り替えください。）：１ ●「吸湿量の上限」までご使用いただけますが、薬剤がなくなると気温や湿度によって吸湿スピードが遅くなりますので、新しい製品とお取り替えいただくと、より効果的です。：２ **【保水剤がない取り替え可能なガードタイプの除湿剤(テスト品：３)】** ●薬剤がすべて液状に変わったら、本品の「つめかえ用」にお取りかえください。(薬剤は吸湿を開始すると一時的に固まることがありますが、液状になるまでご使用できます。) ※液もれの原因になりますので、使用開始より６ヵ月以内に必ずお取りかえください。：３ **【保水剤があるシートタイプ(引き出し・衣装ケース用)の除湿剤(テスト品：４、５)】** ●薬剤全体がゼリー状になったら新しい本品とお取り替えください。：４ ●使用開始後１年以内に必ず新しい商品と交換してください。：４ ●薬剤(中身)がゼリー状になりましたら、お取り替えください。：５ ●使用期間が終了しましたら放置せず、必ずお取り替えください。：５ **【保水剤があるシートタイプ(下駄箱用)の除湿剤(テスト品：６)】** ●３ヵ月後にお取り替えください（※１年以内に必ずお取り替えください。）：６